

ヘッダー文字は消さないでください。

上マージン
20mm

タイトルには、「特殊文字、機種依存文字、ギリシャ文字、“～”」などの文字は使用しないで下さい。

橋床版シンポジウム論文報告集 土木学会

論文

ゴシック 14pt

左マージン
20mm

第11回道路橋床版シンポジウム和文原稿の作成例

左寄せ1マスあけて、「論文」もしくは「報告」のいずれかを記入してください。

(1行あける)
土木太郎*, 構造花子**
(1行あける)

タイトル、著者、所属は
いずれも**中央揃え**として
ください。

*工博，土木大学教授，工学部土木工学科（〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目）

** 工博，建設大学准教授，工学部建設システム工学科（〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目）

(1行あける)

アブストラクト部の左右
マージンは本文よりも
25mm余分に

このファイルは、第11回道路橋床版シンポジウムの和文原稿テンプレートとなります。以下のフォーマットに従って原稿を作成してください。用紙はA4サイズで頁数は「論文」6ページ、「報告」4ページまたは6ページです。原稿のPDFファイルサイズは4.0MBを超えないようにしてください。本文は、上に指示するマージンの内側に、総幅52文字を25文字+スペース2文字+25文字の2段、50行で作成するものとします。文字フォントに関しては、次章3.に示すように章、節、項の見出しはゴシック体10ptで記載し、本文に用いる文字サイズは、明朝体10ptとし、アルファベット及び算用数字についてはTimes 10ptとします。

アブストラクト部の左右
マージンは本文よりも
25mm余分に

キーワード：A4判，キーワード記法

明朝（斜体）10pt

(2行あける)

明朝（英数字
Times）10pt

1. タイトル部分のレイアウト ← ゴシック 10pt

(1行あける)

タイトルページのフォーマットはこの作成例に従って作成してください。ページはA4サイズとし、1行目には左寄せで1マスあけてゴシック体14ptの文字で原稿種別（論文もしくは報告）を記載してください。原稿種別の定義は、次節の注意事項を参照してください。

和文のタイトル文字にはゴシック体14ptを使用してください。以下、著者名、所属を上例に従って明朝体10pt また英数字はTimes 10ptの文字を使用して作成してください。なお、次節に示すタイトルに関する注意事項を遵守してください。タイトル、著者名、所属はいずれも中央揃えとしてください。

アブストラクトは、所属の下1行あけて明朝体10pt また英数字はTimes 10ptの文字を使い、10行以内かつ200字程度の長さで記載してください。アブストラクト部の左右マージンは本文部分の左右マージン(20mm)よりも25mm程度余分にとってください。

キーワードは日本語で3,4個記載し、明朝（斜体）10ptの文字を使用してください。

(1行あける)

1.1 タイトルに関する注意事項 ← ゴシック 10pt

1行目に記載する原稿種別（論文もしくは報告）の定義は以下とします。

論文：学術的または技術的に価値のある論文で、実証的な研究・技術成果、あるいはそれらを統合した知見を示すものであって、新規性や発展性のあるもの、また論文としての体裁を整えているもの。未発表のものに限る。

報告：技術的価値が高い、または資料として有用性のある工事や調査報告、事例紹介などを含むもの。未発表のものに限る。

タイトルには、「特殊文字、機種依存文字、ギリシャ文字、“～”」などの文字は使用しないでください。タイトルが2行にまたがる場合は、区切りのいい文節、語句で段落わけしてください。

ゴシック 10pt

(1) 著者名、所属に関する注意事項

著者名は、姓名を日本語で記載してください。主著者を先頭とし、共著者は最大5名までとしてください。所属は、各著者名の右肩に付した*（アスタリスク）の数に対応する脚注とし、「学位、勤務先名、所属部署（所在住所）」の順に記載してください。

(1行あける)

2. 本文のレイアウト

(1行あける)

本文は、上に指示するマージンの内側に、総幅52文字を25文字+スペース2文字+25文字の2段、50行で作成するものとします。文字フォントに関しては、次章3.に示す章、節、項の見出しはゴシック体10ptで記載し、本文に用いる文字サイズは、明朝体10pt、及び算用数字についてはTimes 10ptとします。

(1行あける)

3. 見出し（見出しが1行以上に長くなる場合には、この例のように折り返してください）

(1行あける)

見出しのレベルは章、節、項の3段階までとしてください。それぞれの番号には、4. 章の番号 4.1 節の

初回投稿時はページ番号を付ける

下マージン
25mm

右マージン
20mm

番号 (1) 項の番号 のようにゴシック体を用いて指定してください。章の見出しは、その上下に 1 行あけ、節の見出しは、その上のみ 1 行あけることを原則とします。ただし、ページや段が切り替わる部分は、見出しが最上部に来るように調整してください。

(1 行あける)

4. 数式および数学記号

(1 行あける)

数式および数学記号は次の式 (1a)

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1a)$$

$$F = \int_{\Gamma} \sin z dz \quad (1b)$$

のように本文とは独立している場合でも、 C_d 、 $\alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成してください。本文中に出てくる数式および数学記号は、そのサイズを本文の文字と同等のものとしてください。

(1 行あける)

5. 図、写真および表

(1 行あける)

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページにおき、直接本文中に描画することを原則とします。また、図表は、ページの右上または左上にまとめて、図が文章の間にはさまらないような配置としてください。図は、例えば図-3 とし、図のタイトルとともに図の下に、表は、例えば表-2 とし、表のタイトルとともに表の上に表示してください。図、写真および写真の番号、およびタイトルは、それぞれ明朝（または Times）10 pt の黒色で記載して下さい。図・写真および表の本体はカラーでもかまいません。（DVD）には投稿いただいたカラー印刷の PDF ファイルが収納されます。

(1 行あける)

6. PDF ファイルの作成

(1 行あける)

Acrobat Distiller または Adobe PDF (アドビシステム社: Adobe Acrobat に付属) を使用し、全てのフォントの埋め込みをして作成した PDF ファイルで投稿してください。PDF ファイルの容量は、4.0MB 以下としてください。PDF ファイルへの変換後に一度印刷して、原稿のイメージが

表-2 表の作成例

試験体番号	板厚(mm)	板幅 (mm)
1	12	100
2	15	200

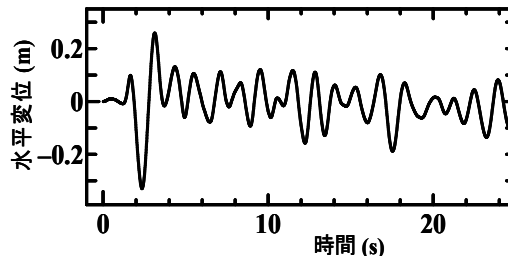


図-3 図の作成例

変わっていないかを必ず確認してください（とくに図表の色彩、点線・斜線の表示などに注意）。

(1 行あける)

謝辞

謝辞を記載する場合には結論の後に記載して下さい。タイトル「謝辞」はゴシック体 10 pt で記述し、謝辞の内容は明朝体（または Times）10 pt で記載して下さい。

(1 行あける)

本文は、参考文献で終わるものとし、もし、付録を置く場合には、参考文献の前に置いてください。最終ページは、2 段組の両側の高さをなるべく同じ高さとしてください。参考文献は、この例のように、上付き右括弧付き文字で指定します。参考文献の最後に論文の投稿受付締切日である 2020 年 7 月 17 日受付と両括弧をつけておいてください。

(1 行あける)

付録

(1 行あける)

参考文献 ← **ゴシック 10pt**

- 1) Dafalias, Y. F. and Popov, E. P. : A model of nonlinear hardening loading, Acta Mecha., Vol.21, pp.173-192, 1975.
- 2) Y.C. ファン (大橋義夫, 村上澄男, 神谷紀生共訳) : 固体の力学/理論, 培風館, 1970.12.
- 3)

明朝 (英数字 times)
10pt

(2020 年 7 月 17 日受付)

最終ページの左右の段落はできるだけそろえて終わる

論文の投稿受付締切日予定日である (2020 年 7 月 17 日受付) と記入してください。